



赤城・榛名の山並みを望み、のどかな田園風景が残る吉岡町が今年、町制施行30周年を迎えた。豊かな自然に恵ま

町制施行

1991年4月、県内32番目の町として吉岡町が誕生した。前橋市のベッドタウン化や交通網の整備などを踏まえ、町制によるイメージアップが狙い。90年9月1日の村の人口は1万3373人で、地方自治法に基づいて、県が制定している条例の移行条件を備えていた。

道の駅よしか温泉

2010年3月、国道17号前橋渋川バイパス沿いに道の駅よしか温泉がオープンした。写真左下。県内20番目の道の駅。既存の温泉施設リポートアジアンと緑地運動公園、物産館「かきぐるま」や無料の足湯、案内棟、170台超の駐車場を設けた。

上毛大橋開通

99年3月28日、利根川左岸の前橋市北部と右岸の吉岡町を結ぶ上毛大橋が完成。開通式が行われた。式には約8千人が参加、期待の大きさをうかがわせた。写真左下。



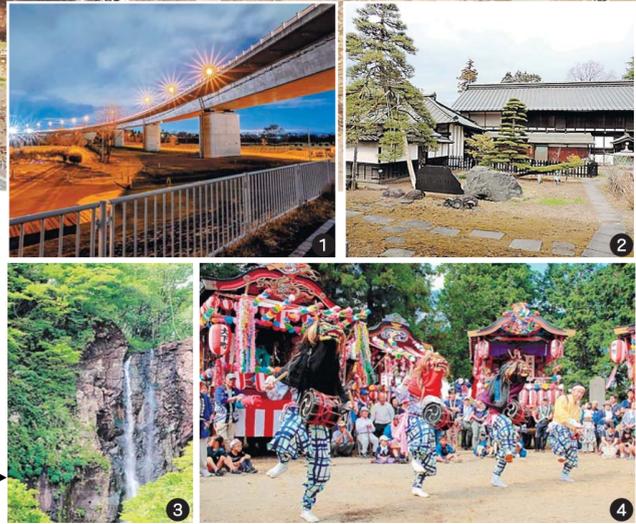
吉岡町 町制施行30周年 住民目線のまちづくり 新たなステージへ。

- 1955年 4月1日、明治・駒寄の両村が合併し吉岡町誕生
1969年 吉岡中学校開校(明治中学校と駒寄中学校統合)
1975年 吉岡村発足20周年記念式典挙行政
1985年 明治・駒寄小学校開校100周年記念事業、村制施行30周年記念式典新庁舎・社会体育館完成
1987年 町制施行・吉岡町誕生
1991年 県人口200万人達成記念事業(桜並木整備事業記念植樹)
1994年 文化センター完成
1996年 よしか温泉リゾートピア吉岡開業
1999年 上毛大橋開通
2001年 「吉岡ケイマンゴルフ場」県企業局から町へ移譲
2002年 三津屋古墳(八角墳)復元
2003年 保健センター業務開始、サイクリングロード町内開通
2004年 駒寄PAでSIC社会実験開始
2006年 駒寄SIC運用開始
2010年 国道17号前橋渋川バイパス新坂東橋開通、道の駅よしか温泉開業
2011年 町制施行20周年、北海道大樹町と友好都市協定締結
2018年 文化財センター開所
2021年 駒寄SICの大型車対応化運用開始。12月26日、町制施行30周年記念式典

町制施行30周年を迎えて 吉岡町長 柴崎徳一郎
平成3年の町制施行から30年。元号も新たな令和の時代に吉岡町は大きな節目を迎えることが...



駒寄SIC周辺では大型商業施設の出店や産業団地構想が相次いでいる



駒寄SIC周辺 相次ぐ開発構想

吉岡町の人口は増え続けており、12月1日現在では2万2064人。2020年の国勢調査によると、前回から人口が増えたのは高崎、太田、伊勢崎、大泉、吉岡の5市町。増加率は吉岡町の3.4%が最も高かった。町の中央に位置する関越道駒寄スマートインターチェンジ(SIC)を中心に、交通網が整備され、大型商業施設や産業団地構想が動きだしている。増加した人口をいかに定着させるかが、今後の課題となりそうだ。

豊かな自然と伝統文化が息づく中、町の発展を象徴する近代的な建造物も増えている。写真①は国道17号前橋渋川バイパス整備に伴い建設された新坂東橋。写真②は町指定重要文化財の森田家住宅、写真③は新緑の船尾滝、写真④は三宮神社例大祭

吉岡町制施行30周年を心よりお祝い申し上げます
田中病院 認知症疾患医療センター

鹿島エレクトロニクス株式会社
〒370-3603 北群馬郡吉岡町陣場203

TAGO car scrap & recycling
株式会社 田子商会
本社 北群馬郡吉岡町上野田1919

吉岡町制施行30周年記念 ケロボンズ
2022年2月20日 2022年3月13日

JA北群馬 介護サービスセンター
北群馬郡吉岡町下野田700-1

地域の力 応援キャンペーン「ぐんま愛2021」協賛社
アイオー信用金庫、桐生信用金庫、群馬県信用組合、群馬銀行、JAグループ群馬、三毛電機、Towa 東和銀行、富士スバル、冬木工業、PRIOR HOLDINGS、Primavera、北海道電力株式会社、三毛電機、明和県立高等学校、群馬目崎鉄工、モーター